



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
79

岩村歴史資料館

岩村 8 百年の歴史を学ぶ



▲歴史的価値の高いものを多く展示

ひと口メモ

「享保岩村城絵図」は、1718（享保3）年7月26日、岩村城が地震により、石垣44カ所、石段1カ所が崩壊する大きな被害を受け、同年12月に藩は被害状況を示す城絵図を添え、修復を幕府へ願い出た際の控えとして藩庁に保存されていたもの。

岩村8百有余年の歴史を収める歴史資料館。岩村城の麓、藩主邸跡の城址公園内に位置する。「享保岩村城絵図」「明和岩村城平面図」「佐藤一斎自讃画像軸」「八幡神社棟札」など県指定重要文化財の歴史的価値の高いものが多く展示されている。文化庁の補助金を受け、1972（昭和47）年に開館。高床式、入り母屋造りの屋根、白壁の外観は城をイメージさせる。また併設された草屋根風の民俗資料館は古い民家をそのまま移築したもので、先人の生活をしのばせる数々の民具は、生活の知恵と技を教えてくれている。



▲知新館で使われていた英和辞書を所蔵

団子スギ

丸みのある壮麗な樹冠

えな自慢

80

えな樹



▲樹形が団子のように丸みを呈している

ひと口メモ

団子スギ近くの古沼は、明知城築城の際、城の水源として丸木の樋を通し、東の丸にある貯水池まで飲料水を送ったとされている。

明智町にあるスギの巨木で、幹囲5.5㍍、樹高18.2㍍、枝張り東西、南北とも21㍍。地上3㍍の辺りから38本もの横枝が四方に張り出し、樹形が団子のように丸みを呈しているところから、この名が付けられた。1851（嘉永4）年の記録にも、すでに団子スギと記されており、樹齢は約千年と伝えられる。1574（天正2）年武田勢の攻略によって、明知城落城の際、城主遠山一行が愛臣の亡がらをこの地に葬ったという伝説が残っている。1957（昭和32）年、県の天然記念物に指定されている。現在は枝折れを防止するための支柱を無数に設備し、広葉樹などの大木と同じように保護されている。



▲団子スギの横にある明知城築城の際の水源とされる古沼

次号は9月15日号
発行日は9月14日(金)です

広報えな No.181

2012年（平成24年）
9月1日発行

発行 恵那市役所／編集 企画課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎(0573)26-2111／☎25-6150／(IP電話)050-5808-9521

http://www.city.ena.lg.jp/ ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』9月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約9.3円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)

市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)▶

☎問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。